





一年で最も寒いと言われる大寒の日に今年も草越の寒の水が行われた。

五穀豊穡、無病息災を祈願するため、今年も、約60人の水行者が草越に集まった。

昼間に降っていた雪はやんだが日は沈み、外気は冷え、観衆の期待は膨らむ。

地域の女性が振る舞う粕汁で心と身体を温めると水行者の士気は徐々に高まっていく。

午後6時。ふんどし姿にわらで編んだ兜巾をかぶり、わらじを履いた水行者が草越公民館を出発。

外にはこの奇祭を一目見ようと集まった観衆で埋め尽くされている。

「よいしょー」気合の入った掛け声で水を浴びると観衆の声援とカメラのフラッシュの嵐となった。

凍てつく道を走り、町内6カ所で水を浴びると最後は熊野神社に兜巾を奉納。公民館に戻って、たき火で暖をとる水行者は皆誇らしげな表情だった。

地域の伝統と文化を継承するため多くの人が力を注ぎ、今年も草越は一年で最も寒い日が一年で最も熱い日となった。